

第1回男女共同参画審議会資料に係る意見・質問に対する回答

NO.	資料番号・ページ	設問番号	内容	回答
1	資料2 P1 P19		男女共同参画事業の取組として「リーフレットの全戸配布を行った」とあり、その成果が「啓発することができた。」となっているが、本来啓発を促すためのリーフレットであるため、もっと具体的な反応を成果としてあげてほしい。	全体的な成果としては、資料3のP2の指標の実績数値で測っていますが、全体的に成果の記載内容にばらつきがあるため、具体的な反応など含めた成果となるよう記載方法について検討します。
2	資料2 P9		②女性の活躍に向けた起業の支援の2段目「女性起業セミナー」が毎回子育てされている女性にターゲットを絞られているように感じ、そうでない女性が参加しにくい感じがします。表現をひろげてほしい。	ここ数年、女性起業セミナーの参加者の年齢層は50代が最も多く、子育て中の30代の女性の参加が少ないのが現状です。幅広い層の方に参加いただけるよう周知の際の表現を工夫します。
3	資料2 P9		女性に限らず、起業後3～5年後の具体的な悩みが始まる時期向けに事業を継続すること、新しいことにチャレンジするためのセミナーがあってほしい。	次年度以降は、起業段階ごとのきめ細かい支援を行っていく必要があると考えています。商工会と連携し、起業後のあり方について検討します。
4	参考資料3 P21	問21	■政治・経済のアンケート回答の中に「イクボス宣言している会社でも実際のところどうなのか」という回答がありますが、企業や市が思うイクボス宣言と市民が思うイクボス宣言にイメージの乖離があるのではないかと感じます。イクボス宣言の取組内容に関してその後の取組状況や実際に働く人々へのアンケートなどを実施することは難しいでしょうか。（個人が特定できない形でのアンケート）	イクボス宣言企業の取組内容や状況については、毎月広報紙で紹介記事を掲載し周知を図っています。実際に働く人々へのアンケートについては、次年度以降、イクボス宣言企業のネットワークの構築を予定しており、定期的な勉強会や意見交換会などを通じて、各事業所の取組の成果をはかる1つの手段として提案していきたいと思っております。
5	資料6 P1	問1	「業種」も追加してはどうか。	問1の後に業種の設問を追加します。
6	資料6 P2 (追加資料 P3)	問5	選択肢に「過去に女性従業員を管理職候補として育成してこなかった。」を追加してはどうか。	選択肢に追加します。
7	資料6 P3 (追加資料 P4)	問6	選択肢3の女性がない、または少ない「職務」に限定したほうが良いのか。職務だけでなく「部門（または部署）」という聞き方をしてはどうか。	選択肢3を「職務」を「部署」に修正します。
8	資料6 P4 (追加資料 P5)	問8	資格取得支援制度は、会社によって「業務に関する資格」に限定したり、会社が予め定めた資格についてのみ対象とするケースもあるので、その区別ができるように聞くか、または限定して聞く形にしたほうが回答しやすくなると思う。	「事業所が指定した資格」と「資格を指定しない」を区別して回答できるようにします。
9	資料6 (追加資料P8,9)	その他	LGBTに関する質問は無くても良いのでしょうか。	P8問19にLGBTを含む多様性に関する選択肢を追加します。それに伴い、P9問20に多様性、ダイバーシティに関する選択肢を追加します。